



第43号
令和3年2月発行

かわさき3R推進キャラクター
かわるん

脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました



近年、台風による甚大な被害の発生など気候変動(地球温暖化)の影響が顕在化しつつあり、市民生活や事業活動に大きな影響のある差し迫った課題となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、令和2年11月、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました。

2050年の未来を担う子どもたちのために、脱炭素戦略では2030年マイルストーン(2030年度までに基本計画の目標約250万t-CO₂の削減に加え、さらに100万t-CO₂削減に挑戦)等を掲げ、野心的なチャレンジを次々と進めていきます。

- 本戦略の特徴**
- ① 2030年マイルストーン(中間目標地点)の設定!
 - ② 脱炭素モデル地区の設置!
 - ③ 2030年までに主要な市公共施設の使用電力を再エネ100%!
 - ④ 脱炭素化に取り組む企業への新たな支援・評価手法の構築!
 - ⑤ 本戦略の巻末に、賛同事業者一覧を掲載!(計304者、R2.10.16時点)



問い合わせ：環境局地球環境推進室 TEL 200-2405

『川崎市プラスチック資源循環への対応方針』を策定しました!

プラスチックは、私たちの生活には欠かせない素材ですが、プラスチックごみによる海洋汚染問題やプラスチックごみの焼却処理に伴う温室効果ガスの発生などの課題も抱えています。こうした状況を踏まえ、循環型社会の構築に向け、令和2年11月に「川崎市プラスチック資源循環への対応方針」を策定しました。

対応方針では、資源循環や地球温暖化、海洋汚染、意識啓発などに寄与する36の当面の取組を整理し、プラスチックごみへの対応を総合的に推進していきますので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

プラスチック資源循環に向けた主な取組

- マイバッグ・マイボトルの利用促進や製品の適正包装の推進
- プラスチック製容器包装の分別率向上に向けた取組の推進
- 脱炭素モデル地区を活用した取組の推進



問い合わせ：環境局廃棄物政策担当 TEL 200-2564